

東奥日報

2022年(令和4年)8月28日(日曜日) (16)

自動車技術独創アイデアコンテスト

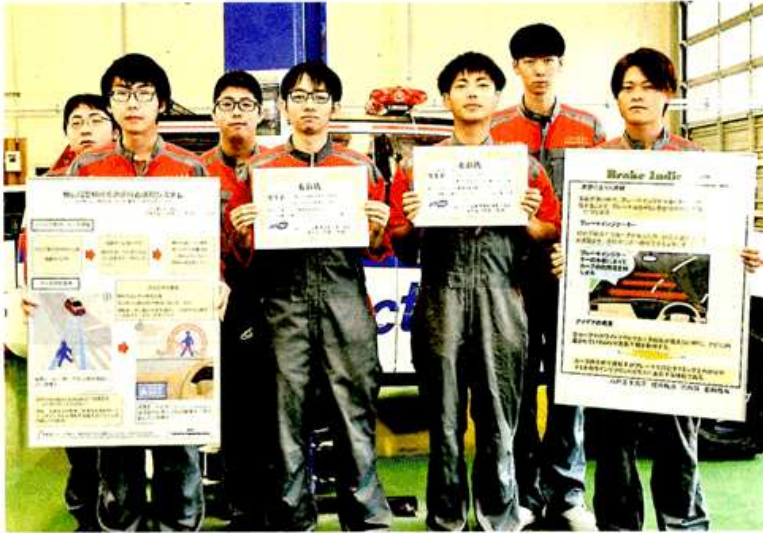
八工大出場全チーム入賞

八戸

第32回自動車技術独創アイデアコンテスト(自動車技術会東北支部主催)に八戸工業大学4年生の4チームが出場し、2チームが優秀賞、2チームが佳作に選出された。全チーム入賞の快挙に、関係者は喜びに沸いている。

(相澤賢斉)

事故防止へ実用化期待



4チームの学生は、いずれも工学部工学科機械工学コース自動車工学プログラムで学んでいる。

優秀賞を受賞した根市侑汰さん、竹内舜さん、若林佑斗さんのチームは「ブレーキングインジケータ」を考案。急カーブの手前で運転手がブレーキを踏むタイミングをフロントガラスに表示するシステムで、初めて道路の急カーブでも適切な対応ができるようになるという。竹内さんは「急カーブでの事故がなくなるように考えた。受賞には少し驚いた」と話した。同じく優秀賞の齊藤麟さん、駒井南海さん、佐々木連音さん、下斗米崇紀

【写真上】優秀賞に選ばれた2チームのメンバー
【同下】佳作を受賞した2チームのメンバー

さんのチームは「無信号型横断歩道歩行者通知システム」を発表。横断歩道に歩行者が立っているのにもかかわらず、車が一時停止しない現状の改善を目指し、人工知能(AI)などを活用して歩行者の動きを判断し、運転手に通知および自動運転で減速させるシステムを考案。事故の未然防止と、運転手の意識を改善させる効果が期待できるといふ。佐々木さんは「受賞はとてつもない。実用化につながれば」と語った。佳作は「横断歩道事故防止センサー」を考案した佐藤凌太さん、藤島駿輝さん、中嶋翼さんのチーム、「歩行者信号のない信号の点滅」を考案した鈴木惇椰さん、小松大洋さん、売井坂翼さんのチームが受賞した。同コンテストの大学・高専・専門学校部門には東北各県から14作品がエントリー。6月4日にオンラインで本選考会が行われた。

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」